

1. 事業の位置付け

事務事業名	地域福祉活動意識啓発事業		
事業担当	福祉部 福祉総務課		
予算科目	01-030101-070000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	02	②〈市民力〉 市民一人一人の主体的な参加により、地域で支え合う環境をつくる	
	01	1 地域を支える活動に参加する意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
多くの市民が、地域福祉活動へ主体的に参加しています。		地域福祉活動の意識啓発のため、リーフレットの発行やホームページを充実します。また、各地区の先駆的な取組を紹介する「地域福祉フォーラム」を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地域福祉啓発用リーフレット配布部数						単位	部
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			2,500	2,500	2,500			
活動指標②	指標名	地域福祉啓発イベント開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	1	1			
成果指標①	指標名	ボランティア登録者数						単位	人
	説明・算定式	町内福祉村のボランティア登録者数及び地区社会福祉協議会が捉えているボランティアの合計							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			2,300	2,400	2,500			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
平塚保健福祉事務所との共催で、地域福祉フォーラムを開催。テーマは「地域課題の発見とその解決に向けたネットワークの活用」。また、併せて町内福祉村の活動報告を行ったことにより、地域福祉活動の意識啓発を図ることができた。なお、高齢ボランティアのリタイアによる減員と若年層、特に団塊世代の取り込み不足が課題となった。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域福祉の推進を図るための導入として、共助の意識を多くの市民に持っていただくための啓発は行政で行う必要がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域福祉活動に携わる市民の数が増加しており、市民一人一人の主体的な参加による地域で支え合う環境づくりに効果が上がっている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域福祉活動に携わる市民の数が増えてきている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	県との共催で「町内福祉村合同研修会」を実施することにより、コストの削減に努めている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

#### 今後に向けた課題の分析

若年層、特に団塊世代をボランティア活動に取り込むことが必要である。

### 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				リーフレットの発行、地域福祉情報の発信	フォーラムの開催、地域福祉情報の発信	フォーラムの開催、地域福祉情報の発信		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	30	115	0	0
事業費 (A)		0	0	0	30	115	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.15	0.15	0.15	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,259	1,259	1,259	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,259	1,289	1,374	0	0

### 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 引き続き、フォーラムの開催、パンフレットの配布を行う。	
平成21年度の実行方針	
身近な課題についてのフォーラムを開催し、少しでも多くの市民が足を運ぶことでボランティア意識をもってもらえるような啓発を行う。	
課長コメント	ボランティア意識の萌芽のため、地道な事業であるが確実に継続していく必要がある。